

| | |
|---------------|---|
| 氏名 | 松 村 周 治 |
| 授 与 し た 学 位 | 博 士 |
| 専 攻 分 野 の 名 称 | 医 学 |
| 学 位 授 与 番 号 | 博甲第 2249号 |
| 学 位 授 与 の 日 付 | 平成 13年3月31日 |
| 学 位 授 与 の 要 件 | 医学研究科内科系内科学(一)専攻 (学位規則第5条第1項該当) |
| 学 位 論 文 題 目 | High Frequency of Circulating HBcAg-Specific CD8 T cells in Hepatitis B Infection: A Flow Cytometric Analysis (B型肝炎ウイルス感染においてHBc抗原特異的CD8T細胞は高 頻度に存在する:フローサイトメトリー解析による検討) |
| 論 文 審 査 委 員 | 教授 山田 雅夫 教授 加藤 宣之 教授 横野 博史 |

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ウイルス抗原特異的 T 細胞はウイルス排除に重要である。我々は B 型肝炎ウイルス(HBV)特異的 T 細胞反応についてフローサイトメトリーを用いて検討した。HBe 抗原陽性慢性肝炎(Group A)、セロコンバージョン後の HBe 抗体陽性群(Group B)および HBs 抗体陽性群(Group C)の 3 群を対象に検討した。末梢血を recombinant HB コア(HBc)抗原と培養し、細胞内サイトカインをフローサイトメトリーにより解析した。HBc 抗原特異的 CD4 および CD8 T 細胞はすべての群において検出され、IFN- γ 陽性 T 細胞の数は TNF- α 陽性細胞より多かった。IFN- γ 陽性 CD4 および CD8 T 細胞は Group C で最も多く認められた。Group A と B の間には有意差は認められなかった。HBc 抗原特異的 CD8 T 細胞反応は、CD4 T 細胞の排除、抗 HLA class I, class II 抗体または抗 CD40L 抗体の添加にて減少した。HBc 抗原非添加でのサイトカイン陽性 CD8 T 細胞は Group B において最も高頻度に認められ、他群ではまれであった。以上より、高感度の方法により、HBc 抗原特異的 T 細胞は HBV 感染において高頻度に検出され、HBV の複製制御に重要な役割を果たしていることが推察された。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、B 型肝炎ウイルス感染における、ウイルス特異的 T 細胞反応をフローサイトメトリーを用いて検討したものである。対象者の末梢血に遺伝子組み換え HBc 抗原を加えて刺激し、フローサイトメトリーにて細胞表面マーカー、細胞内サイトカイン等を検出する高感度な方法を導入して、B 型肝炎ウイルス感染における HBc 抗原特異的 CD8 陽性 T 細胞の関与を示した価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。